

令和7年度 第12回西区自治協議会 会議録

日時	令和8年3月27日(金) 15:00～	会場	西区役所 健康センター棟1階 大会議室
出席者	委員	風間会長、岩沢副会長、山賀副会長、久保田委員、中村委員、渡邊委員、関委員、丸山委員、伊藤(健)委員、田村委員、竹田委員、笹川委員、伊藤(正)委員、藤橋委員、大島委員、尾田委員、塩川委員、羽賀委員、山岸委員、長澤委員、高橋委員、古俣(慎)委員、西山委員、山口委員、今村委員	計25名
	事務局	水野区長、大橋副区長、兼島地域課長、治田区民生活課長、相田健康福祉課長補佐、浅間保護課長、中村農政商工課長、野崎西出張所長、菊地黒埼出張所長、高野坂井輪地区公民館長、真柄坂井輪図書館長	ほか
傍聴人	県議・市議…2人/報道…0人/一般…1人		

【開会】

(地域課・吉岡補佐)

- ・出席予定委員数25名、会議成立の報告
- ・会議内容公表の報告
- ・資料内容確認

【議事】

(風間会長)

それではお手元の次第の議事、括弧1が令和7年度区自治協議会提案事業の事業評価についてということで、各部会の状況報告を含めて、いつもの順番でというふうになっております。

資料開いていただくとわかるんですけども、部会のあの会議の内容の次のページに、それぞれ部会の事業評価書というのがついております。

それでは伊藤第1部会長から報告をお願いいたします。

(第1部会長・伊藤委員)

はい。第1部会の伊藤でございます。

会議の方でございますが3月13日第11回の会議を行いまして午後4時から行いました。

出欠に関してはこちらの方記載してある通りでございます。

まず前回の振り返りを行いました後に、提案事業としての高校生と連携した自転車盗難防止事業ということで、報告および検討という部分がありました。

その中でノベルティを学生さんに選んでいただいて、ご意見いただいて作成することができました。ノベルティに関しては、消しゴムと、それから高校生に人気なグミキャンディなどを入れてですね、ぜひ取っていただきやすくしていくというふうな形で、今後それを袋詰めにしてという準備を行い来年度の5月ゴールデンウィーク以降に、まず学校での高校生に対する防犯というふうな形で行います。

その後ですね高校生の方からご意見いただきまして、地域の方でもやりたいということがありますので、その後には文理高校さんの近くの内野駅、新潟大学前駅でも配布という形でご協力いただくということになっております。

続きまして地域の防犯講演会ということでございますが、以前アンケートの方を皆様にお願ひしたという部分はありますけれどもその中で、実際2月に行いたいというところがあったんですけども、そこは我々の協力体制というわけではないんですが、講師等ですね、ご紹介という形で行った際のですね感想等をちょっとお聞きしたりした部分もお話させていただきました。

またですね、アンケートの方もまた随時ちょっとまた出させていただいて、来年度に向けてですねまた防犯講演会ご希望のコミ協さんがあればということで出させてさせていただいております。

あとは5月6月に開催予定のコミ協さまに対しては地域活動補助金を使われるか、もしくは自治体の補助を使うかというふうな部分でまたご相談させていただきながら行くと。

ただご紹介した中で2月に行ったところからのでいきますと、楽々さんが来ていただいたんですがもうちょっと講演を30分ぐらいだったから1時間ぐらいやりたいというご意見もありましたので、もしご参加されるコミ協さんの方ですね、あればですね、その際にはちょっと時間に余裕を持ってせっかくなのでいろいろお話したかったと逆にそういうふうなお話もありましたということをお願いいたします。

あと自主防災組織という部分の防災向上という部分なんですが、皆さんの方から検討の方いただいた結果を基にですね、やっぱり末端の方1人1人ですねやっぱり防災準備、こういうものが必要だろうといわゆる原点に立ち返って、一つ一つやっぺいこうというふうな形の内容となりました。

ただそれにつきましては、やっぱり避難しやすいようにいろいろものを持っていくそういう部分も水だったりいろんなものがあります。

重たくなってしまうとなかなかそれを持ち出すことができませんから、まずは必要なものから簡単に持っていけるようにということで基本に立ち返って、住民の皆様にはわかりやすく行うために SNS 等ですね、いろんなそういうふうなツールを使ってですね、コンテンツを使いながら進めていく。

そのことによって今度徐々に自助から共助というふうな形に進めていくような形の進め方で行っていくというふうな内容になりました。

裏面の方になりますが、裏面の方がそのような内容でコンテンツというものを生かしながら行っていくというふうな形で検討していくということになっております。

次回の開催につきましては令和8年4月6日3時から西区役所4階対策室でになっております。

続きまして評価の方になります。

次の方に行っていただきますと事業の評価としましての報告でございます。

まず成果の方のところになりますが、特殊詐欺の方ですねの講演会でございます。

コミュニティ様に先ほども申した通り、アンケートの方を実施しまして、1件の協力の要望があったんですけどもそちらの方が新潟市の補助金の方、地域活動補助金の方を利用されるということで、我々の方としましては、紹介と新潟西警察署のですね生活安全課の方と、それから楽々さんの方を講師として紹介するという形になりました。

続きまして自転車盗難防止キャンペーンの方ですけども、こちらの方は日本文理高校さんの生徒会の方、それから西警察の生活安全課の方で、ご協力いただきながら、学生さんの意見を踏まえてですね、意見交換などを行い、それで来年度に行うための準備それからあとは学生さんの自発的な活動にですね、ぜひ我々としてバックアップしていく。

そういうふうな形で配布するノベルティ等、踏まえてですね、若い世代から手に取ってもらいやすいよう、ノベルティを配布したりできるよう進めております。

実際に私がですね顔合わせをしながら、今度は第1部会全員で袋詰めなどを学生さんとともにですね、コミュニケーションをとりながら、事業を進めていく形となっていくということになります。

あと自主防災組織の活動支援ということで、こちらの方も自主防災組織を対象に行ったアンケートの結果から、各組織の困りごと、特にですね、結果として出てきたのは、何をすればいいのかというのが意外と何を準備したらいいのかというのがまだ定まってないところはかなりおられましたので、そういう部分に対応できるよう、まずは住民の皆さんから準備ができるような形で原点に戻って行くとそういうふうな形で進んでいくような形になるということになります。

以上でございます。

(風間会長)

はい、ありがとうございました。

それでは続いて、第2部会同じような要領で部会と、それから事業評価書の一番下の事業の評価について、山岸部会長から報告をお願いいたします。

(第2部会長・山岸委員)

はい。2部会の山岸です。よろしくお願いします。

第12回の会議が行われました。3月9日です。

出欠の委員につきましては記載の通りとなっております。

前回の振り返りを行って授業評価書の確認ですが、後ほどこのことについては触れたいと思います。

提案事業の内容について進捗状況とか内容の検討を行いました。

一つは支え合いの大切さ普及事業挨拶運動について媒体とか参加している団体などの確認をしながら、どうやって今後進めていくのか、定着させていくのかというところについて検討しております。

人気の高いのぼり・ラミネートポスターなどにつきましては今後配布して以降、さらに追加で配布しようということで決まっております。

第10期の新たな提案事業として、資料に基づいて今後の進め方とか検討の方向性を再確認しました。

小学校5年生から中学校3年生までのアンケート結果をもとに考えていますが、皆さんでも本当にあの検討をたくさんしていただきながら、課題を整理しております。

主な意見として今後ですが、公共施設とで連携できるっていうのが自治協の強みであるというご意見がありました。公民館とか図書館の現場でコロナ以降の学生がなかなか戻ってこないとか本を借りてくれないとかっていう現実もあるらしいということもあり公共施設とまずは連携しながら、自治協が新たに何かを実施するというよりも、既存の施設を活用しながら、持続可能な可能な取り組みができるのではないかとこのところ、次回公民館、図書館の関係者においでいただき、ヒアリングをしながら、どんなことができるかなっていうところを、モデル事業なども検討しながら進めていきたいと考えています。

他にもアンケートをもとにいろいろなことが今後活動できる、いろいろな本当に参考になる資料がたくさんありますので、部会の皆さんでよくよくしっかりと考えて子供たちの居場所作りというところで視点を求めてやっていきたいと思っています。

次回の会議は4月10日行う予定です。裏面にお移りください。

事業評価書です。2部会としましては2点ございます。

支え合いの大切さ普及事業継続しているものと、新たに今年度のにしく隙間コネクトプロジェクトというところでの事業評価です。目的や概要につきましては、今まで皆さんにご報告申し上げているので割愛させていただいて、一番下の事業の評価です。

まず、支え合いに関すること支えの大切さ普及事業につきましては、令和4年度実施のアンケート結果に基づき、支え合いの行動を起こすきっかけ作りとしてのあいさつ運動を展開していこうというところで評価できた。それから、事業の公共性ですが今年度からより地域へ浸透させていくっていうことを目的として、委員による運動実施ではなくて、各地で水平展開をできるように浸透させていくための努力をしていこう、活動していこうということで決まっております。

それから、にしく隙間コネクトプロジェクトですが、委員が身近に感じていることから課題を抽出し実際に対象世代にアンケートを実施し、その分析結果に基づいて課題を解決する取り組みを企画していこうということになっております。

それから全国的に課題となっている部活動の地域展開この放課後の過ごし方について実際の中学生世代の考えを知ることができたという点で、一定の公益性があったと評価できる。

またアンケート実施にあたっては、事務局と公立学校のコレクション最大限に生かして説明段階から実施段階まで非常にスムーズにご協力いただいて進行ができたというところで、実効性や効率性の面も高く評価できるということになっております。

以上です。

(風間会長)

はい。ありがとうございました。

それでは、第3部会につきましては山賀副会長から同じように報告をお願いします。

(山賀副会長)

第3部会ご報告いたします。開催日は3月11日午後3時からでした他は記載の通りです。

前回部会の振り返りを行った後、事業評価書の確認を行いました。

第3部会の方この後ちょっと提案事業の検討の方が資料、他の資料も説明もあるので先に事業評価書のあの説明をさせていただきます。

1枚めくっていただいて第3部会の評価書です。三つのプロジェクトを行いました。

まず大学生プロジェクトについては、単に大学生の視点による魅力発信というだけでなく公共交通機関を使って区内の魅力を巡るといような要素も取り入れまして、そういった視点での魅力発信の方向性のルート案を出せたなというところが一つ評価としての成果としてあります。

それから農業の魅力発信については実態をまず知ろうということで農政商工課さんからお話を伺ったりということで、主に区としての農業支援をそういった現状把握することから、考える機会になったっていうところが一つと、それからその後、しっかり情報発信をしていこうということで、広報部会と連携するというふうなことが決まりましてこういった魅力発信を効率的にやれるということが評価できる点といえます。

もう一つ、見える化地域が見える化プロジェクトにつきましては、全コミ協さんからご協力をいただいたおかげですね、各地域の実情や魅力を一覧として整理し見える化することができました。そうしたことでですね点から線、線から面への展開ですとか地域同士の連携を可能にする考えるきっかけにもなったかなというふうに思っております。

こうやって一覧にするところことでですね今までとは異なる視点も見いだせて魅力発信についても検討することができたかなというところがあります。

今後はですね今年度は調査・研究という位置づけでしたので、そういったことをできたということでこれを来年度生かして実践活動に繋げていきたいなというふうに思っております。

評価の方は以上で次に提案事業の内容検討について報告します。また戻っていただきます。

まず今ほど言いました大学生による魅力発信プロジェクトについては、この後ちょっと参考資料で報告レポートを簡単に説明させていただきます。このルートのあの2人の大学生の委員さんがルートを作ってくれましてそれを下見をしに行く検証しに行くというふうなことで、やってきましたが、それをやった結果どういうふうに生かすかっていう点についてちょっと報告を行いました。

作ったルートについては今後ちょっとリーフレット形式にまとめて特に大学生とか若い人たち向けに発信しようというように一つになりました。また今回作ったルートですとかリーフレットを基にですね、取り組みバスツアーになるか街歩きになるかというところですがそれを来年検討しようということになりました。

農業の魅力発信事業については来年度の広報誌から連載を行うということで今回は検討なしでした。

それから地域の見える化プロジェクトについては回答いただいた内容をまとめたものについて委員の皆さんで確認して意見交換を行いました。意見の方はそこに記載されている通りで、結果として、今後の方向性ということですね、皆さんに西区ガイドマップってあるのご存知ですかね。

ガイドマップって西区のいろんな資源が乗っかってるマップなんですけれどもそれが結構古くてですね、古いのでこれを自治協目線からの見直しはどうかということで、今回の皆さん各コミ協さんから出ている地域の資源などをもとにですね、ちょっとガイドマップの見直しを図りたいということ、次年度考えていこうということになりました。

またインターネット上で展開するってことも考えていこうということになりました。それから各地域ともですねお祭りが結構たくさん出されていてですね、それを時系列に年間のスケジュール的な感じでまとめて別な地域のお祭りにも行けるって言って参加しようというふうなことを促すこともできないかというお話でそこもちょっと整理を行っていこうということになりました。

またたくさんの情報が出てきまして、魅力もたくさん出てきたということがありましたので、これらをですね一般の人にも伝わるようなまとめ方っていうのを4月以降も引き続き研究して何かしらの形にしていこうということになりました。

ということで次回以降はそういったテーマで検討を行うことということで4月9日に行います。

すみませんちょっと長くなってしまって申し訳ないんですが、参考配付1っていうのをご覧ください。

こちらがですね大学生による魅力発信プロジェクトの下見で研修を行った報告レポートになります。

最初はですね荻野さん荻野委員から寺尾小針ルートでの案を作っていただきました。これは西区の魅力を巡る女子旅ロングプランというものでした最初は机上で考えてプランを作ったんですけども実際に行くにあたってこれ公共交通で移動するということだったので、バスの時間に合わせて一旦工程を組み直していきました。

この表記の右側が実際に行った工程行った左側が組み直した工程なんですけど、右側が実際に回ったときの時間割時間帯になります。西区役所前の坂井輪ルートのバス停から乗って行っていっぺこ～と行って、また西区役所前に戻って砂丘のあの山西を通りですね先を越えて寺部中央公園に行って、産業道路に出て、松見の森に行って、小針浜小針のカフェに行って小針浜海水浴場に行くというルートで行きました。

はい。内容そのルートの内容といいますかどういふふうに巡ったかっていうのは写真つきのところで後でご確認いただきたいというふうに思いますので見てください。

めぐりまして4ページ、4ページって書いてあるところなんですけれどもはい。

現地確認によるルートの変更ポイントということで実際にこうやって見るとですね、かなりあの最初の案が時間に余裕を持たせて組んでいたため、あの時間が余るような状況だったっていうところがあったので時間配分を組み直すっていうことが必要だということがありました。

それから結構寺尾地区のまち歩きは大体トータル90分ぐらいだったんですけども、起伏があるので結構体力を使うっていうのがあったので、少し短めがいいだろうというようなところがありました。

大体そういう感じで実際にやってみて調整したっていうので一番下に改善案で少しショートカットしたというような大体行くところは同じなんですけどショートカットしたという内容になります。

続きまして次のページで黒埼ルートということで、河内委員が作成してくれた案です。河内委員が三つ案作ってくださったんですけども黒埼の木場を中心にあの巡ってみるとというようなことでルートを設定しました。

こちらの方はですねバスの本数がかなり少なくて時間が限定されるので、もうそこに合わせた形で巡るとような組み立てにしています。

イオン青山で集合しまして、そこからバスに乗って東山のバス停に移動してバスに乗ってふるさと村に行き、施設を見学し、その後ふるさと村から木場駅跡に移動し、金巻の池、木場八幡宮、宮のもり木場城公園、まいぶんポートまで行き、また木場駅跡まで戻るという超ロングコース往復1時間というような感じで歩いて行ったというようなものです。

こちらでもですね内容は後でご覧いただきたいと思います。

やっぱり行ってみてふるさと村私も久しぶりに行ったんですけども、非常に見どころがたくさんあって面白いというところがありました。また木場の方もですね見るところはそれなりあるんですけども、やっぱりどうしても移動が大変だっていうところがあったのでルート改善案として7ページになります。

けれども、そこに記載した通り、大学生を対象に、ふるさと村だけプラスふるさと村で新潟を知るっていうようなところを限定してやってもいいんじゃないかというふうなところで組み直しています。

また路線バスを利用するということで、市外県外から新潟に来た学生とか新潟で育っててもあんまり知らない学生たちにバスの乗り方や使い方もそれで学んでもらうっていうこともできるんじゃないかというところです。

また黒埼エリアの木場周辺の方はですね、遺跡なんかもあったり文化財センターもありますので、そこですねに新潟市西区の昔を知るっていうことをテーマに巡ったらどうかというようなことで一つ組んでいます。

ただやっぱり距離があるので、これはバスツアーがいいんじゃないかというふうなことで今仮の設定にしています。はい。ということで、大学生の方は以上になります。

続いて見える化プロジェクトについてです。

15コミ協さんをお願いしまして、皆さんからご回答いただきまして本当にありがとうございました感謝申し上げます。

コミ協さんのご事情によってちょっとまだ提出できてないところがある、されてないところが二つあるんですけれども、またこの後、4月の方にご提出いただくようにまたお願いしたいと思っております。

今この大学生のレポートの後に参考配布3って書いてありますけども、このこれが参考配布2の13コミ協さんのデータをAIにかけてもらって、まとめたのが参考配布3っていうものです。

まず内野以西の西エリア、青山小針エリア、黒埼エリアでの取りまとめが順にあり、最後に祝全体の取りまとめって形でまとめてあります。これも一つ一つ読むと大変時間がかかってしまうので、ざっくり申し上げますけれどもざっくりといいますか総括的に申しますと、やっぱりそれぞれの地域で非常にたくさん魅力があるということ。

それからこの三つで分けたときにですねそれぞれのエリアで、やっぱり個性があって特徴が際立っているような感じを受けています。それらが総合して結局西区としては非常に自然が豊かで、それから文化、非常にこの地域の文化も残っており、地域活動も活発であるというようなこともわかってきましたし、この非常に都市型の住宅地とそれから自然環境が共存しているという魅力・強みっていうのが出てきたかなというふうに思います。

あと課題なんかもですね共通してるところは、たくさんあったりするんですけれども、こういった皆さんから出していただいたものっていうので非常にこの西区の姿が見えてきたかなというふうなところがあります。

後でじっくりご覧いただければというふうに思います。

以上第3部会長になってすいませんありがとうございました。

(風間会長)

はい。大変丁寧にありがとうございました。

それでは最後になりますけれども、総務特別部会を3月19日に開催しましたので、内容については私の方から報告いたします。

本日、第12回の自治協議会の進め方について関係の委員と議事、それから報告内容のについては確認をいたしました。

今日の進め方について、事務局の方から部会の報告とその続けてわかるようにということで、資料の組み直しをしていただきました。

それから2番目としまして、今後も西区を元気づけるプロジェクトについて、これまでの検討の経緯とか、先月本会議後2月27日オンラインで研修を指定いただきましたけれども、その意見交換時に出される意見などを再確認をしたところでございます。

そして、先月のオンラインでの研修の概要というのは、地域の魅力というのは人々がその地域に対して持つイメージで形づくられるとそういう傾向があるといいたいまいしょうかね。それから西区やその取り組みを知って訪れてもらうことが必要であると。

そうすると、関係人口が増えると、それから特定エリアの取り組みを地域の魅力を知るきっかけとする活用が必要なんではないかと。まず手始めとしてっていいいますか小さな取り組みで、まず他の地域の人が参加できるってというような工夫をして、徐々に認知や関係するエリアを広げていくということが重要ではないかというふうな意見でございました。

それから、委員研修時の主な意見としましては、魅力をより多くの人に届け、訪れてみたいと思ってもらえるような工夫が必要であると。それから、既存の取り組みを活用して、西区に訪れる人、あるいは関わる人を増やすことが必要ですと。

こんな研修中の意見をです踏まえながら、今後の方向性や具体的な取り組み内容の検討を行ったところです。

今後の取り組みの方向性として、西区への来訪機会を作ろうとか、たくさん作ろうと既存の取り組みを活用し、西区を訪れる人を増やす取り組みを検討し、実施しようとか。例えば昨年発酵街道のイベントというのが行われまして、その参加者を増やすこととか、認知度の向上に繋がる取り組みがということで、今年度からは発酵街道＝佐潟エリアの魅力ではなく西区の魅力と捉えるような事業展開を考えていたらどうかということです。

そして、認知度が高まってきた段階で、区内の西区内の各地のイベントとか祭りとの連携出張企画などに繋げていくということを取りたいという形になりました。はい。

裏面にいきまして、具体的な取り組みの内容でございますけれども、来訪者この関係人口を増加させるというその目標をですね、次のような取り組みをやっていこうじゃないかという話をお話でございます。

アクセスの向上に繋がるツアー企画や体験コンテンツの充実と情報発信、モデルコースの設定、一般の方の力も借りた広報戦略ということで、SNSを活用したフォト企画の開催などという案が出ましたので、それらの企画を進める方向で今後も検討を行います。

次回の会議では4月の22日ですね。はい。

それから事業評価書につきましては、これ全部読みますと非常に長くなりますのでかいつまんで説明します。15年ほどアートフェスティバルっていう部会で特別部会でいろいろな事業を展開してきたんですが、その後受けましてそれに代わる事業は何をしたらいいかというところで、発酵街道開事業と連携をしてきたところであります。

自治協としてはアンケートの実施やイベントへの広報ブースの出展などを行いました、実績は記載の通りですので、後程ご確認ください。

事業評価としましては、地域課題の抽出方法や企画立案の評価ということで、決したい地域課題や目的が不透明に成っていた事業の見直しを行い、区の活性化を目的とした新しい事業として設計し直した上、委員による地域の魅力を掘り起こすワークショップの結果に基づき、事業検討したことで、地域の現状の課題や身近な魅力などに即した企画となった。

2点目としては行政や民間事業者が一丸となって取り組む事業とも連携を行ったことで、区が目指す方向性に沿った事業展開となり、事業成果を広げることにも寄与した。ということです。

事業の公益性と実効性については昨年10月4日の初回開催でありましたけれども、本事業のアンケート実施を補助したことにより、今後の事業実施や事業改善に当たって重要なデータを集めることができました。また側方的な事業支援にあたって事務局の繋がりを生かし、情報収集並びに事業準備を行うことができたために、高い実効性、効率性で事業が実施できましたということです。

特別部会で、昨年の発酵街道開を一つの起点としまして、また西区の皆さんが地域が元気になるような活動を今年も進めていきたいと思いますということで、意見が一致しましたので、あわせて報告をさせていただきます。

それでは、これまでの報告について、皆さんの方から何か質問ございましたらどうぞ挙手をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか？

はい竹田委員どうぞ。

(竹田委員)

小針コミ協の竹田でございます。第1部会さんとそれから第3部会さんに1件ずつちょっと質問があります。

第1部会さんの地域の防災防犯講演会応援事業ということで、私ども2月にですね利用させていただきました。非常に楽々さんのですね、知識になる講演で非常に来場者、高齢者の方からもわかりやすかったよという好意的な意見が多数寄せられました。

ちなみにあれですか、この事業は確か今年の冬、2月ぐらいから始まったと思うんですが他のコミュニティさんでいくつか講演会を実施した結果があるのか、それから次年度もこれ続くような形になってますが1回やった私どももう一度やりたいよというのが可能なのかなのかどうかというのを聞かせ願いたいと思います。

それから第3部会さんですね。

地域の見える化アンケート実施されたと思うんですが、これも2ヶ月余りぐらい経ってると思うんですが未だにこの15のうち13だけ集まって集まりますよと。

あと2個が出てませんよということらしいんですが、これは理由があるんでしょうかね、それでこれからですねバージョンアップとかインターネットで公開するようなお話を聞いてきましたけれども、完全に揃えないと不完全な、そういった回答になりかねないと思うんですけれども、その点も対策ですね聞かせ願えればと思います。

(第1部会長・伊藤委員)

まず第1部会の方でございますが、一応アンケート等を出していただいた中で、また1コミ協さんの方で計画をしているということは実際あります。ただ結構この中で地域活動補助金を使うということになると自治協の支援の方とは一緒にはできないので、そちらの方を使ってされるという方もなかなかおられます。

ただまた今後ですねアンケートの方も出させていただいて、来年度に向けてですね開催したいと、できる限り各コミ協さんやっていただきたいと思うんですけれども、せっかくの機会ですからなかなか講師の皆様も繋がりがある方ですといいんですけれども、なかなかその繋がりが無いとどこに連絡していかかわからないというのもあると思いますので、またアンケートは出しますのでその上でいつ開催するのかと予定しているかというのを出していただければよろしいかなと思います。

ただ前回されたということでまたやりたいという部分は、これからちょっと検討はさせていただきますというのとはまた予算的なものもあると思いますし、まだされていないところへまずは優先したいという部分もありますのでそれは検討させていただいた上でただ自前で行うという中で講師の方ですね、ご紹介いただきたいということであればその辺はですね、ご協力はしていくような形になると思います。よろしいでしょうか？

(竹田委員)

わかりましたありがとうございます。

(山賀委員)

ご質問ありがとうございます。先ほど申しましたようにちょっとそれぞれ事情があってというところがありましてまだ出されていないというところがあります。もう一つこちら側のちょっと申し訳なかった点があるですねお願いする段階で第3部会としてどのようにこの調査を活用するかっていうことを皆さんにお伝えしないままをお願いしておりますですね、そのときからちょっと活用方法を考えたっていうところがあったので、その点でちょっとまた何のためにやるんだっていうようなところが伝わりづらかったかなっていうところがあったので、今後の活用方法についてもお伝えしてですねもう一度お願いをさせていただくかなというふうに考えております。はい。

(竹田委員)

わかりました。はい。

ありがとうございます。

(風間会長)

この内容で皆さんの方で何かご意見がなければ、この評価書で確定をしてですね。次、進めたいと思いますよろしいでしょうか？

(全体)

(異議なし)

(風間会長)

それでは事務局の方、そういうことで事業評価書確定したということでよろしくお願いたします。

それでは議事の2の括弧2令和8年度西地区自治協議会部会編成の見直し案につきまして、資料の2の皆さん出していただきまして、それでは兼島地域課長様よりお願いします。

(地域課・兼島課長)

資料2広報紙作成体制の見直しに基づきご説明いたします。

まず、これまでの体制についてです。令和7年度は、会議体の整理合理化の観点から、従来設置していた広報紙特別部会を廃止し、その機能を総務特別部会に統合して運用してまいりました。この見直しは会議体数の削減や部会運営の効率化、委員事務局双方の会議運営の負担軽減を目的として新たな体制に取り組んだものです。

結果現在は、図の左側のように、本会の下に議事調整並びに全体に係る事項の検討と広報紙の企画構成を行う総務特別部会が位置し、その下に第1部会から第3部会までが位置する体制で運用しております。このような体制で1年間運用する中で2点ほど課題が生じております。

まず1点目、議事調整と広報紙作成の会議開催タイミングが異なることです。今回の議事調整は本会議の開催の前の週に実施する一方で、広報紙作成は発行スケジュールに応じて実施する必要があり、同時に開催することが難しい状況となっています。

現在もそれぞれ別日に開催しておるのですが、体制と実態には乖離が生じています。

2点目です。定足数の制約で、広報紙作成会議の運営が不安定となっている点です。

こうした課題を踏まえ、今後は図の右側のように広報紙作成会議を広報紙特別部会として独立した会議体として整理することといたします。これにより総務特別部会は、本会の議事調整や全体事項の検討に専念し、広報紙部会は広報誌の企画編集構成の業務に特化する体制となります。

1年間トライでやってみてちょっと現状デメリットが大きいなところと考えております。事務局からこのような体制に戻してはどうだろうということでご提案差し上げたいと思います。説明は以上です。

(風間会長)

ありがとうございます。今そのような提案がございました。

内容で、質問ありましたらどうぞ挙手をお願いします。

また、意義がなければ案の通り体制を変更して進めていくということをお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか？

(全体)

(異議なし)

(風間会長)

異議なしということで、それでは修正案で今後進めていただくということで、事務局よろしくお願いたします。

【報告事項】

(風間会長)

続きまして、報告事項ということで2月の広報紙作成会議の内容報告を長澤委員からお願いいたします。

(長澤委員)

お手元の資料3番になります。2月27日1時健康センター棟3階大会議室において、1時半から2時45分まで行いました。出席については表記の通りです。

主な議題については、先般3月15日に発行させていただきました。第50号広報紙の内容について最終的な確認を行いました。お手元の資料の中に別資料としてまた入れさせていただいておりますのでまだご覧になってない方がおられましたら、お時間のある時に十分ご覧いただきたいと思います。

今回第50号ということで、一面の一番上に控えめにですね、祝ということで書かせていただきました。他の区ではこの50回という50号を迎える区の広報紙はないというふうに聞いておりますので、これも日頃皆様からの応援の賜物だと思っております。

また、これがですね回を重ねてですね西区がですね本当に豊かになっていくような貢献ができたかなと思っております。

それでは次回のですね予定日なんですけれども先般ちょっとまだ日程の調整ができておりませんでしたので、恐縮ですけれども、あの広報委員においては本会今回今日の本会が終わり次第、5分ぐらい時間をいただいて、次回の日程を決めたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。

はい。以上です。

(風間会長)

ありがとうございました。それでは続きまして、西区地域公共交通検討会議につきまして、山賀副会長より報告をお願いいたします。

(山賀副会長)

ではご報告いたします。西区地域公共交通検討会議は3月25日というふうに記載ありますが今回は書面開催ということで、意見提出の締め切り日を開催日時としております。

この会議のメンバーは記載の通りです。

西区自治協議会からは交通所管とする第 3 部会の部会長である私と、それから西地区・坂井輪地区・黒埼地区の 3 地区から代表となる委員の方にこの会議にご参加いただいております。

今回のテーマなんですけれども、現在取り組みを進めている西区生活交通改善プランにつきまして、令和 7 年度の取り組みについて検証ということで、令和 7 年度取り組みについてまとめていただいた資料を基にですね、各委員の方々がご意見を提出するというふうなことになっておりました。

その内容を出された意見等につきまして内容はそこに記載されている通りです。

まず取り組み状況や評価に対する意見としましては、バスの運行の見直し、これ坂井輪ルートそれからコミュニティ佐潟のバスなんですけれども、地域の状況や要望に応え、調査とともに地元団体と協議の上で見直しを図ったことを評価しますということでもしっかり地元の方々と協議されて見直しをしていったということで評価されています。引き続き地域住民や関係団体との情報共有や調整や協議が続けられることを期待しますということです。

もう一つ丁寧な計画に沿ってコース変更が行われていると評価できるということでした。

それからその他のこのプランだけでなくその他の公共交通に対する意見ということで出されているものが以下の通りですか、バス運行は少なくとも現行を維持し利便性を保ってほしいということですね。コミュニティ佐潟バスの今後の運行に関しては、地域の学校統合の合意形成が進んでいるところであるということで、通学区域の諸般の事情も考慮すると住民バス運行については、今後も不断の見直しを行う必要があり関係各関係団体の皆様のご協力をいただきたいということ。それから区内にバス停盤面等の破損などが発生している設備が多くあるので、今後このような設備修繕や整備を進めていただきたいというご意見も出されておりました。はい。

区としてはこの意見を踏まえつつ、令和 8 年度もプランに沿った取り組みを進めていくということだそうです。以上報告を終わります。

(風間会長)

はいありがとうございます。あの報告について皆さん何かご質問ありましたら挙手をお願いしたいんですがいかがでしょうか？

ないようすありがとうございます。

それでは、新潟市犯罪のない安心安全のまちづくり推進協議会の会議報告を、山口委員より報告をお願いいたします。

(山口委員)

公募委員山口です。私の方から説明させていただきます。

先月2月12日に行われました。新潟市犯罪のない安心安全なまちづくり推進協議会に地区の自治協議会の委員として参加してきました。

お手元にあります資料4を1枚おめくりください。まず、令和7年新潟市犯罪発生状況についてです。県警察で把握している。昨年12月末までの犯罪認知件数になります。

一番のところの刑法犯認知状況のところ、刑法犯総数が市内において前年より262件増加しています。また、3番の特殊詐欺の被害額が目立ちました。架空請求は減少していますが、オレオレ詐欺が非常に増えている状況です。

そして隣の資料を見ていただきますと、特殊詐欺の各区での被害件数がでています。中央区秋葉区での被害が増えています。最近では偽警察詐欺といって警察を名乗る詐欺が多くなってきていると説明を受けました。対策として、県警察では、区役所等の各エリアに出向き、昨年7月から国際電話の休止サービスのブースを設けて行ったり、LINEでの注意喚起の周知を取り組んでいるとのこと。

市報にいがたを読んできましたという方も多くいるそうですので、周知は今後も必要と思いました。

次に、第6次推進計画における数値目標の達成状況についてです。資料2をご覧ください。コロナ禍があり、全体的に活動が減っていましたが、ここ最近での取り組みは増加傾向にあるとのこと。

その中でも一部抜粋しますが、4ページ目の青色回転灯パトロール車と言われる防犯活動がなかなか増えないといった説明がありました。西区では1台のみとのことですが、他の区ではゼロ台で確保ができていない区もあるようです。

西蒲区の委員の方からは、地域の中で自主的に活動しているところもあるとお聞きしました。最近では不審者情報も多く、いろいろな手口で犯行に及ぼうとする時代ではあるので各エリアで活動されているセーフティの見守り見守り隊の方々がとても大切な存在だと感じました。

より多くの目で子供たちの命を守っていけるよう、各地域で活動を推進していただければと思います。

そしてその他に、新潟市の各区の担当者から取り組み事例の説明がありました。資料3-1に記載の通りです。お時間あるときに目を通していただければと思います。

西区では一番最後のページになりますが、高齢者対象での詐欺被害防止に関する講話等の取り組みをしていただいていたたり、各地域でもたくさんの活動がされているのだと感じました。

ただ私の方で気になった点があり、質問と提案をさせていただいたのですが、こういった防犯活動は大切とわかっていながらも意欲的に参加する人はほぼ少ないのではないかと思います。今まで活動を行う参加者感想聞いたことがあるのかという質問と、なければそういった口コミを活用して効果がどのくらいあるのか把握してもいいのではないかと提案させていただきました。

また、私が市外のスーパーに行ったときに、地域の小学生の声で、特殊詐欺に気をつけてくださいと店内アナウンスで流しているところがありまして、そのように自動的に注意喚起の呼びかけをできる。仕組み作りをするのもいいのではないかと提案させていただきました。

ご意見に関しましては今後ご検討いただけるとのことでした。

最後になりますが、県警察から皆様へご協力をお願いをいただいておりますので、この場でご説明させていただきます。

新潟県警察で配信している光くん光ちゃん安心メールがあります。今までですと、ご希望の方に不審者情報、防犯対策情報等を反映し、配信していたサービスでしたが、そちらは先月2月をもっての終了になりまして、この3月よりアプリ機能に切り替わったとのことでした。

ぜひより多くの方にご登録いただき、防犯意識を高めていただきたいと思いますとおっしゃっていましたので、皆様のご協力よろしくお願いたします。

次回の会議開催はリアル開催の前に書面会議を行う予定です。私からは以上になります。

(風間会長)

ありがとうございます。

今の報告について何かご質問はありますか。

ないようですので次に移ります。

【その他】

(風間会長)

荻野委員・河内委員の大学卒業に伴う委員退任の報告。

【事務局からの連絡】

(地域課・吉岡補佐)

- ・異動職員からのあいさつについて (各職員から異動のあいさつ)
- ・令和8年度全体委員研修の案内について

・令和 8 年度第 1 回の開催案内

「令和 8 年 4 月 30 日（木）午後 3 時～ 西区役所健康センター棟 3 階 大会議室にて」

・その他配布資料の説明

（風間会長）

閉会宣言〔会議終了〕